

学習ポートフォリオ_最終

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	對馬武郎
クラス	L
学籍番号	1018035
プロジェクトの目標および成果物とそれにより得られた結果や効果について書いてください。(自由記述, 200 文字以上)	プロジェクトの目標は、未来大発の店員ロボットをハードウェアから開発することでした。プロジェクト開始当初では3グループがそれぞれ特徴を持ったロボットを1機作成し、最終的に全てのロボットを融合して最終成果物とする予定でした。しかし時間が足りず3機のロボットをそれぞれの最終成果物とすることになりました。この結果より得られた見解として、ハードウェアからの開発はかなり難易度が高く、実用レベルのロボットを開発するには去年のプロジェクトのように実際に市販されている製品に頼らざるを得ないというのが結論でした。
その中であなたが貢献したことを具体的に書いてください(自由記述 200 文字以上)	自分が担当した領域はロボットのソフトウェアの開発でした。具体的には音声認識機能およびそれに連動する画面表示プログラムとシリアル通信の構築を行いました。Raspberry Pi の環境構築、Julius の導入と音声認識と連動するプログラム作成、Processing での画面表示プログラム作成、Arduino とのシリアル通信の確立等を web 上の文献を参照するなどして学習しながら行いました。Julius と音声認識プログラムに関してはロボットの中心となる機能で、このクオリティがロボットの完成度に直結するので特に注力しました。
グループのなかでの自分の役割について	責任と権限がある程度決まっていた
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
自分の所属するプロジェクトの難易度について	比較的難しかった

上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	
前期の活動終了時の学習目標を選択してください. (複数回答可)	プロジェクトの進め方; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか. (自由記述 200 文字以上)	プロジェクトの進め方に関して、後期の活動開始時点である程度完成までの道筋が見えていたので前期のようにどこから手を付ければよいかわからないという状況はありませんでしたが、発表会が刻々と迫る中何をどこまで作りこむかもしくは妥協するかを選択を余儀なくされました。工程とスケジュールの管理が上達したと思います。技術・知識の習得、応用に関しては知識が必要になった時 web 上などの文献から習得する方法を用いていましたが、自分の状況と全く同じ人というのは滅多にいないので複数の文献から情報を整理してベストな方法を見つける必要がありました。
その結果、プロジェクト学習で <u>習得できたこと</u> は何ですか. (複数回答可)	プロジェクトの進め方; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
その結果、プロジェクト学習で <u>習得できなかったこと</u> は何ですか. (複数回答可)	その他(下の記入欄に具体的に記述してください)
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	特になし

習得できなかった理由は何ですか。（自由記述 200 文字以上）	
卒業研究や今後の成長のためにあなたにとって特に必要なことは何ですか。（複数回答可）	研究の進め方; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記のことが必要な理由は何ですか？（自由記述、200 字以上）	プロジェクト学習では複数人で共通の目標をもって学習していくことが前提となっていました。卒業研究や社会に出たときこのような状況になることは少ないと思います。一人もしくは少人数で課題解決に責任をもって担当するにはこれまで以上の情報収集能力と学習能力が求められるので、このプロジェクト学習で得られた学習スキルを忘れないようにこれからも磨いていきたいです。また、新しいものを開発しようとした場合参考文献は存在しないので培ってきた知識を応用するスキルも必要になってくると思います。
プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無について	2つの講義・演習と関連があった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
グループ内での作業分量の割り当てについて。	ほぼ公平に割り当てられていた
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
通常の講義・演習と比較して、プロジェクト学	どちらかといえばプロジェクト学習の意義があった

習の意義の有無について(Q27)	
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
Q27 の意義について、答えを選んだ理由となる項目を選択してください。(複数回答可)	グループ内での自分の役割; 自分の所属するプロジェクトの難易度; プロジェクト学習で習得した方法; プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
自分の所属するプロジェクト(グループ)の活動に対する満足度について。(Q31)	満足
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
Q31 の満足度の理由として考えられる項目を選択してください。(複数回答可)	グループ内での自分の役割; 自分の所属するプロジェクトの難易度; プロジェクト学習で習得した方法; プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	できる

自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	できる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	まあまあできる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任	できる

をもって注意深くインターネット環境を利用できる	
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる
他者を信頼し、共感することができる	できる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	できる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロ	興味を持てた

<p>ジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？</p>	
<p>前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？</p>	<p>役に立つ</p>
<p>今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？</p>	<p>まあまあ自信がある</p>
<p>前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？</p>	<p>まあまあ満足している</p>